

(素案)

序章 施策の体系

第1節 施策の体系

第2節 基本計画の見方

第1節 施策の体系

将来都市像の実現のため、「後期基本計画」では施策の体系を次のとおり定め、各分野における施策に取り組めます。

将来都市像

人と人との絆をつむぐ
誰もが活躍できるまち
むさしむらやま

市民協働編

第1章 市民との協働による地域振興

第1節 コミュニティ

第2節 パートナーシップ

まちづくり編

第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり

第1節 健康・医療

第2節 福祉

第3節 暮らし

第3章 安全で快適なまちづくり

第1節 安全・安心

第2節 都市基盤

第3節 地域交通

第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり

第1節 人権

第2節 教育

第3節 文化

第5章 地域の特色をいかした 自然と調和するまちづくり

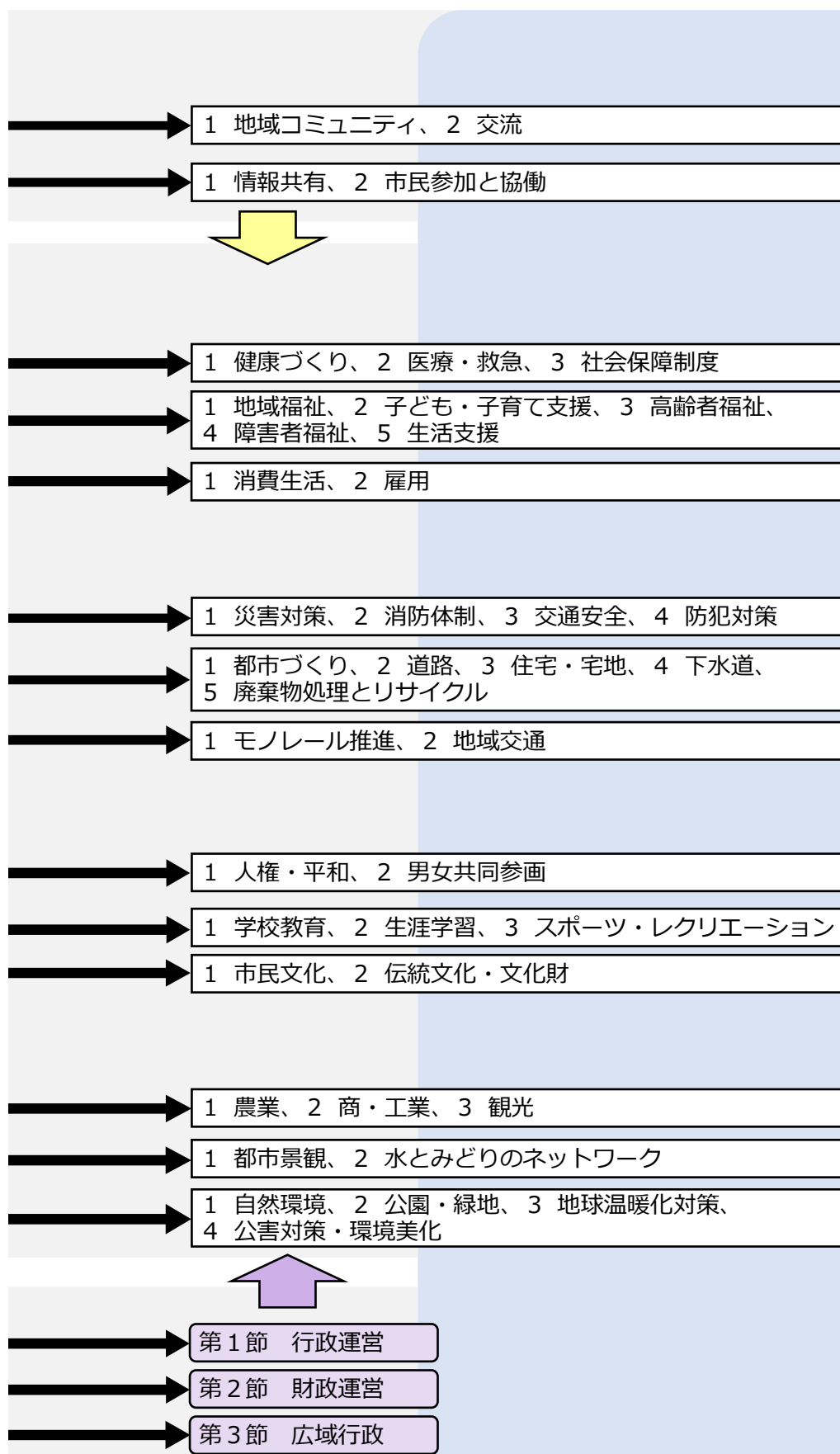
第1節 産業

第2節 景観

第3節 環境

計画推進編

第6章 計画の推進に向けて



第7章 国土強靱化地域計画

第8章 武蔵村山市デジタル田園都市構想総合戦略

第2節 基本計画の見方

各タイトルです。
背景の色は、施策の
体系に合わせ、章ご
とに変えています。

具体施策が、SDGs のどのゴールの達成に資する施策かをアイ
コンで示しています。複数のゴールに関係する場合は、一番関
連性の高いゴールのアイコンを表示しています。(各ゴールの詳
細については●ページを参照してください。)

第3節 広域行政



現状と課題

近年の勢や市の現
在の取組、今後施策
を推進していくに当
たつての課題等
です。

本市の市街地は北側の丘陵地を除いては、おおむね隣接市の市街地と接しており、市民の日常生活や経済活動の範囲は市域を越えている状況にあります。加えて、多摩モノレールの延伸や交通機関、情報・通信手段の発達等により、この範囲は、さらに拡大していくことが見込まれます。

今後、行政運営の効率化と市民サービスの更なる充実に取り組むためには、広域的な連携による行政運営などの検討を進める必要があります。

- 本市では、近隣自治体との図書館の相互利用や、一部事務組合方式による廃棄物、し尿処理、火葬事業などの共同実施に加え、都・区市町村DX協働運営委員会と連携し、デジタル化に向けた情報共有を行っています。

- 今後も、よりよい行政運営に向け、より一層の広域行政を検討・推進する必要があります。

表 6-1 図書館相互利用の状況

区分		有効登録者数(人)	延貸出数(冊)	備 考
武蔵村山市	登録先	立 川 市	722	市外の図書館の利用状況
		昭 島 市	566	
		東大和市	1,205	
		瑞穂町	391	
	合 計	2,884	36,149	
川 市 民		69	2,381	市内の図書館の利用状況
島 市 民		15	432	
大 和 市 民		81	7,217	
穂 町 民		19	9,688	
市外在住者合計		184	19,718	

(注) 登録者は令和7年3月31日現在、延貸出数は令和6年4月1日から令和7年3月31日までの冊数

出典 図書館資料

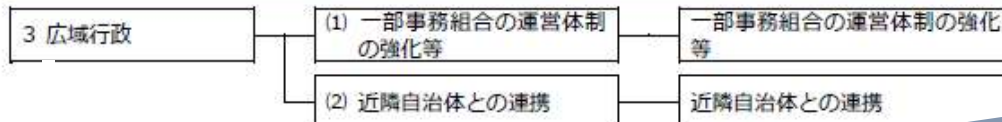
今後5年間で展望した各施策の目指す方向性です。

基本方針

- 様々な分野において、複数の自治体で共同運営や連携した取組を実施することで、サービスの向上と経費の削減が可能となるため、近隣自治体との連携及び協力を一層推進します。

施策を推進するための具体的な施策群の関係性です。

施策の体系・内容



基本方針に基づいて取り組む施策を、大項目としてまとめて表現しています。

(1) 一部事務組合の運営体制の強化等

一部事務組合の運営体制の強化等

- 高度化・多様化する行政課題に対応するため、構成団体と連携して本市が加入する一部事務組合の運営体制の強化に努め、市民ニーズに配慮した適切な措置を講じます。
- 一部事務組合が市民の身近な存在となるように PR に努めます。

取り組む施策の項目です。

(2) 近隣自治体との連携

近隣自治体との連携

- 市域を越えて広域的な取組を行っている廃棄物、し尿処理に加え、公共施設や交通機関の整備・利用、観光、生涯学習、各種証明書発行などについて、コスト削減と利便性の向上を図るため、歴史的、経済的、社会的に密接な関係を有する自治体等との連携、協力関係の維持及び発展に努めるとともに、災害発生時の相互応援協定を締結している自治体との応援体制の構築に努めます。
- 地方分権の進展を踏まえ、事務の共同処理について検討を行います。

各項目で取り組む施策の主な内容です。

成果指標



施策の実施状況や、達成状況等を表す指標の、現況と目標です。

SDGs（持続可能な開発目標）の17のゴールについて

「後期基本計画」では、SDGsの17のゴールのアイコンを各節に表示し、それぞれの節がどのゴールの達成に資する取組であるかを示します。

SDGsは、この17のゴールのほかに、169のターゲットを定めています。

アイコン	ゴールの名称等	アイコン	ゴールの名称等
	1.貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。		10.人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する。
	2.飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。		11.住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
	3.すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。		12.つくる責任つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する。
	4.質の高い教育をみんなに すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。		13.気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
	5.ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。		14.海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
	6.安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。		15.陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。		16.平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
	8.働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。		17.パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。
	9.産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。		・カラーホイール 17のゴールそれぞれのカラーを一つの輪として表現した、SDGsを象徴するアイコン

本計画における各節とゴールの関連付けに当たっては、このターゲットに定められている内容も参考に設定しています。

それぞれのターゲットについては資料編に記載しています。